

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価ソフト

バージョン CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)  
 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

### 1) 概要入力

#### ① 建物概要

■ 建物名称	「仮称」至仁会職員寮新築工事	
■ 建設地・地域区分	埼玉県所沢市東狭山ヶ丘四丁目2660-1他	6地域
■ 地域・地区	市街化調整区域防火地域 防火指定なし	
■ 竣工年(予定/竣工)	2022年2月	予定
■ 敷地面積	2,970.96 m <sup>2</sup>	
■ 建築面積	1,456.65 m <sup>2</sup>	
■ 延床面積	3,945.71 m <sup>2</sup>	
■ 建物用途名	共同住宅 集合住宅,	
■ 階数	地上3F	
■ 構造	RC造	
■ 平均居住人員	93 人(想定値)	
■ 年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	

#### ② 評価の実施

■ 評価の実施	2021年3月15日	実施設計段階
■ 作成者	空間工房大河原実	
■ 確認日	2021年3月15日	
■ 確認者	大河原実	
■ LCCO2の計算	標準計算	→LCCO2算定条件シート(標準計算)を入力

### 2) 個別用途入力

#### ① 用途別延床面積

事務所	0.00 m <sup>2</sup>	事務所		m <sup>2</sup>
		官公庁		m <sup>2</sup>
学校	0.00 m <sup>2</sup>	幼稚園・保育園		m <sup>2</sup>
		小・中学校(北海道)		m <sup>2</sup>
		小・中学校(北海道以外)		m <sup>2</sup>
		高校		m <sup>2</sup>
		大学・専門学校		m <sup>2</sup>
物販店	0.00 m <sup>2</sup>	デパート・スーパー		m <sup>2</sup>
		その他物販		m <sup>2</sup>
飲食店				m <sup>2</sup>
集会所	0.00 m <sup>2</sup>	劇場・ホール		m <sup>2</sup>
		展示施設		m <sup>2</sup>
		スポーツ施設		m <sup>2</sup>
工場		うち省エネ計画対象面積		m <sup>2</sup>
病院				m <sup>2</sup>
ホテル				m <sup>2</sup>
非住宅 小計	0.00 m <sup>2</sup>			
集合住宅	3,945.71 m <sup>2</sup>	専用部	3112.71 m <sup>2</sup>	
		共用部	833.00 m <sup>2</sup>	

#### ② 住居・宿泊部分の比率

■ 病院の延床面積のうち、病室部分の床面積の比率	
■ ホテルの延床面積のうち、宿泊部分の床面積の比率	
■ 集合住宅の延床面積のうち、住戸部分の床面積の比率	0.79

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	「仮称」至仁会職員寮新築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県所沢市東狭山ヶ丘四丁目26	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域防火地域 防火指	平均居住人員	93 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年3月15日
敷地面積	2,971 m <sup>2</sup>	作成者	(株)晶空間工房大河原実
建築面積	1,457 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月15日
延床面積	3,946 m <sup>2</sup>	確認者	大河原実



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 地域医療を支える周辺環境を整えるため、今計画は始まりました。市街化調整区域の中でも地域環境との調和を図り、落ち着いた雰囲気を出し、総エネルギー量の排出を抑制し、少しでも地域に貢献できるよう配慮しました。		0
<b>Q1 室内環境</b> RC壁式造の特性を生かしながら、静粛で断熱性能に優れた環境に配慮しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐震性能を重視しながら、昨今の情報通信にもしっかりと対応した機能を設けました。3.1Mの階高を取り、置床とすることで、リモデルにも対応できる空間としました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に適切に緑化を心掛け、敷地内外への景観に考慮しました。敷地内舗装を少なくし、温熱環境にも配慮しています。また集会場を設けアメニティにも配慮しています。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の外皮性能を高めて熱負荷の抑制に努めました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル製品をできるだけ採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地外環境の負荷要因につながらないような運営に努力する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

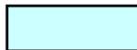
建物名称	「仮称」至仁会職員寮新築工事	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.5	+	3.0	=	6.5	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
<配慮した内容を記述> 敷地外環境の負荷要因につながらないような運営に努力する。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 市の開発要項を順守する			

 : 入力欄